

## JDARN紹介

北本朝展 (KITAMOTO Asanobu)

ROIS-DS人文学オープンデータ共同利用センター  
／国立情報学研究所

<https://japanlinkcenter.org/rduf/>



## JDARNのミッション

**日本における研究  
データリポジトリの  
専門家コミュニティ  
を立ち上げること。**



約20名のメンバー

1. オープンサイエンスの動向を共有する。
2. 挑戦的課題や解決策に関する共通理解を発展させる。
3. 現場専門家の立場から、社会における認識を高めるとともに、将来計画に向けても自ら発信する。

# 研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン

2019年3月に、内閣府からガイドラインが公表された。これに対して、JDARNは大きく貢献した。

研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン

平成 31 年 3 月 29 日  
国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの  
推進に関する検討会

1. 研究データの保存・公開とデータリポジトリの整備・運用
2. 研究データリポジトリの定義及び役割
3. FAIR 原則
4. 信頼できる研究データリポジトリの整備・運用に関する要件



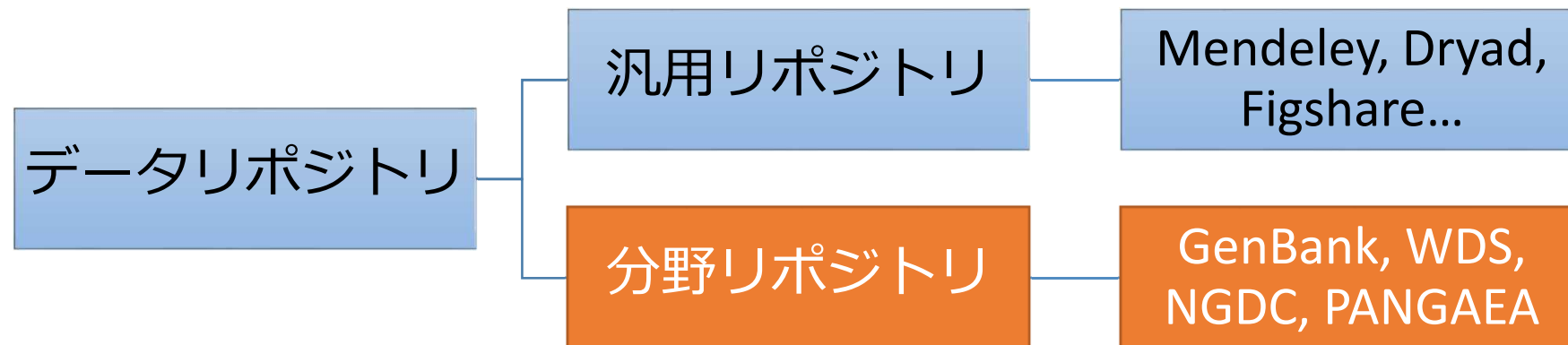
<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/guideline.pdf>



## 沿革

1. **2014年10月～2015年9月**：研究データへのDOI登録実験プロジェクト (@JaLC)。
2. **2016年6月**：研究データ利活用協議会（RDUF）が発足。
3. **2017年10月**：小委員会「国内の分野リポジトリ関係者のネットワーク構築」がスタート。
4. **2018年10月**：小委員会の名前を「**Japan Data Repository Network (JDARN)**」に変更。
5. **2019年3月**：内閣府から、研究データリポジトリに関するガイドラインが公表された。

# データリポジトリの分類



1. **機関リポジトリ**に研究データを入れる場合は、組織単位でのマネージメントになる。
2. **分野リポジトリ**には研究分野に特有の機能やメタデータが入れられる。
3. **日本に分野リポジトリはいくつあるのか？同志を増やしたい。**



2017年9月、ICSU World Data SystemとData Seal of Approval が、データリポジトリの認証として**CoreTrustSeal**を開始。

# オープンサイエンスと データリポジトリ

1. 研究データリポジトリは、**オープンデータ**、**データ共有**、**検証可能性**などの面から重要な役割を果たす。
2. **研究データのエコシステム**：ミッションの明確化とポジショニングが必要。
3. **持続可能性**：適度に入れ替わりがないと、属人性に依存した運用になる。
4. **共通理解の形成**：コミュニティで議論しながら、ネットワークを広げましょう！